



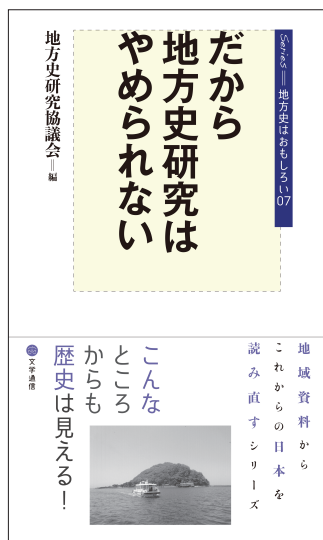
日本の歩みを記憶として、地域から残し伝え考えるための本

地域資料から
これからの日本を
読み直すシリーズ

だから 地方史研究は やめられない

地方史研究協議会 編

地域の現場で
多様な資料と
向き合いながら
研究を進めることの
おもしろさを、
地方史研究の最前線
にいる書き手が
縦横無尽に語り尽くす。



ISBN978-4-86766-082-9
新書判・並製・272頁
本体価格1,650円(+税)



- はじめに ―本書のたのしみ方 地方史研究協議会会長 久保田昌希
- 第1部 もう一つの世界から歴史を見る
- 1 海の領主忍部氏と海城警固(山内 謙)
 - 2 竹からみた江戸時代(小林 准士)
 - 3 太平洋戦争下の箱根・熱海ツアー(松本洋幸)
- 第2部 こんなところからも歴史がみえるぞ!
- 4 沼津市霊山寺の梵鐘銘文を読む(原地淳司)
 - 5 慶長三年の常陸国境争いをめぐる鉄火標と鉄火棒
―伝説と史実の狭間―(栗原健一)
 - 6 『原野の乱』関係史料との出会い(香山浩彦)
 - 7 石碑と石材から地域の歴史を読み解く
―若手県内の近世石碑と墓石から―(兼平賢治)
- 第3部 いったい何者だったのか?!
- 8 道観長者とは何者か
―東大寺のお水取りと伊賀ノ井松明講の伝説―(渡邊浩貴)
 - 9 墓石系図・新出資料から読み解く漆仲買人桐生海庄
牧土とは何者か(高木謙一)
- 第4部 それでもまたたかに生きていく
- 11 伊達政宗を翻弄した大内定綱(佐藤貴浩)
 - 12 庄屋(御用日記)から見た江戸藩の百姓―投(三浦忠司)
 - 13 地域をつなぐ商人の活動―館山町の他国出身商人―(宮坂 新)
- 第5部 かくして信仰は広がった
- 14 知られざる道元頂相―旅行された頂相をめぐって―(長谷川幸一)
 - 15 サビエル米豊の経路と南蛮貿易港日出の姿(井養人)
 - 16 高野山への信仰と参詣の旅路(山下真理子)
 - 17 『神井日誌』から読み解く祭りの変遷
―英彦山神社神楽祭の事例から―(須永 敬)
- 第6部 これからのアーカイブズの話しよう
- 18 武家の北海道移住とアーカイブズの移動
―巨理伊達家中村本孝英の近世・近代―(二野行徳)
 - 19 在米木綿がカタールへ―加古川地方の産業史―(西向宏介)
 - 20 高知の山奥までやってきた戦争
―高知県津野町日ケ市集落の『常会記録』を読む―(小幡 尚)
- あとがき(秋谷良太)

【新刊申込締切】 2025年04月14日(月)

【取次搬入予定】 2025年04月18日(金)

【ご注文について】

実際に手にとって見てみたいといった場合など、1冊でも構いません。
遠慮なくご注文ください。また、本書についての問い合わせも歓迎です。

フリーで返品受けます!

注文扱(返条付・岡田了解)で搬入
返品は八木書店(文学通信・岡田)
了解とお書き下さい。

営業部・岡田

電話●03-5939-9027

【注文書】 FAX 03-5939-9094

メール●info@bungaku-report.com

電話●03-5939-9027

取次●八木書店。八木書店経由で、トーハン・日販・楽天・日教販・中央社等へ搬入いたします

●番線印

●冊数

新刊 文学通信

地方史研究協議会 編

だから地方史研究は やめられない

冊 ISBN978-4-86766-082-9 本体価格 1,650円(税別)

◎ご担当者

◎電話番号

◎その他ご連絡事項